

いきいき健康生活
鴻巣市広報「かがやき」 平成23年6月15日号 掲載
「咳」

突然咳が出たら「風邪かな?」と思われる方が多いでしょう。確かに咳が出る一番の原因は風邪ですが、咳は続く期間によって区別されます。

専門的には3週間以内の咳を「急性咳嗽(がいそう)」、3週間から8週間続く咳を「遷延性(せんえんせい)咳嗽」、8週間以上続く咳を「慢性咳嗽」として区別していきます。

3週間以内の咳は風邪などの感染によるものが多く、3週間以上なってくるとマイコプラズマや結核のような咳が出やすい感染症や、インフルエンザなどの後に残る咳という場合もあります。

さらには、8週間以上続く咳は今までの病気に加えて咳喘息、肺癌、COPD(慢性閉塞性肺疾患、昔でいう肺気腫と思ってください)といった肺疾患によるものを考えていくことになります。

また、咳は肺の病気だけで起きるわけではないということも重要です。専門の医師でも咳の原因がすぐにはわからないことは多いのです。薬の副反応によるもの、蓄膿症によるもの、鼻炎によるもの、逆流性食道炎によるもの、心臓の病気によるもの、さらには心因性といってストレスから発症する咳まであります。

もちろんたばこによる咳も多く、咳が続いているのにたばこを吸い続けている方も多いようです。まずはたばこをやめるといった意識も必要でしょう。

以上のように咳の原因はいろいろとありますが、診断も治療も難しいのが「咳」なのです。咳が気になるときは、まずかかりつけの先生に相談してみてください。かかりつけの先生が判断に迷うときは専門医へ紹介してくれるはずです。